

AMS-F シリーズ用 バーコード読み取り装置 取扱説明書 / パーツリスト



当製品を装着する際は、必ずミシンの電源スイッチを切ってください。 また、ミシンの取扱説明書をあわせてお読みください。



1. 取り付け手順	1
2. バーコードの貼付け	3
3. バーコード機能について	3
4. バーコード機能の設定	4
5. 使用方法	9
6. バーコード構成	
7. バーコードリーダーの動作不良について	
8. パーツリスト	



1. 取り付け手順



バーコードリーダー●を付属のねじ②、座金
 ③で取付板④に取り付けます。
 (2箇所)



2) 束線バンド⑤でコードを固定します。



3) ミシン本体の中押えカバーの止めねじ(6)(2) 箇所)を一度外し、取付板(4)を取り付け、再 度ねじ止めして、ミシンに取り付けます。





4) 電装 BOX の蓋を開けて、中継ケーブル (40105094) を MAIN 基板の CN60 に接続します。

(注意 中継ケーブルのコネクタに記載されているマーカーは「CN50」となっていますが、MAIN 基板) の「CN60」へ接続してください。 」

5) 中継ケーブルをバーコードリーダーへ接続し、付属の束線バンドで固定してください。



・ミシンの使用温度範囲内および使用温度湿度内で使用してください。 ・電源を供給した状態でコネクタの抜き差しをしないでください。

(2. バーコードの貼付け



- バーコード●は取扱説明書の巻末に添付されたものをコピーして使用してください。
- 2)外押えへのバーコードの貼付けについては、
 図のようにバーコード読み取り装置からの
 レーザ照射がバーコードに当たるように、押え位置を調整してください。
 (「4-3. 固定退避位置の設定」P.6 を参照してください。)

(3. バーコード機能について

バーコード機能とは、カセット識別等の用途で、バーコードを読み取り、対応した縫製パターンに切り替えて縫製できる機能です。

バーコードの読み取りにより、ミシンメモリー内に保存されたユーザーパターン 999 個、パターンボ タンに登録されている縫製データ 50 個に切り替えることが可能です。

バーコードリーダー仕様

CMOS エリアセンサー WVGA (36 万画素)

4. バーコード機能の設定

(4-1. バーコード機能の設定)

メモリースイッチ K130「バーコード / バンク機能選択」で、バーコードモードを選択します。 メモリースイッチ Kxxx(レベル 2)の選択方法については、サービスマニュアルを参照ください。



内容	説明	
なし	バンク・バーコード機能を使用しません。	
バンクモード2パターン	バンク数に2パターンを設定します。	
バンクモード 4 パターン	バンク数に 4 パターンを設定します。	
バンクモード8パターン	バンク数に8パターンを設定します。	
バンクモード 16 パターン	バンク数に 16 パターンを設定します。	
バーコードモード	バーコードモードを使用します。	
バンクモードダイレクト選択	バンク番号がそのままパターン番号として	
	設定されます。	
パターンの設定が不要です。		

メモリースイッチ K130 でバーコードモードを選択すると、リストー覧画面の「バーコード設定」ボタン ❷ が有効となります。このボタンを押下すると、バーコード設定一覧画面が表示されます。「バー コード有効/無効設定」ボタンからバーコードの有効/無効を切り替えることができます。





バーコードを有効にすると、バーコード設定一覧画面に「バーコード読み取り位置ティーチング」ボタンが表示されます。バーコード読み取り位置ティーチング機能の使用方法については、「4-3-2. 固定退避位置ティーチング」P.7 を参照ください。

4-3. 固定退避位置の設定

バーコード機能では、メモリースイッチK117、K118の固定退避位置座標が有効になります。メモリースイッチK90「固定退避位置の有効/無効選択」を設定する必要はありません。

押えに貼られたバーコードの読み取り位置を調整する必要がある場合に、その座標位置を設定してく ださい。

固定退避位置の設定方法には、直接座標を入力する方法と実際に押えを移動させた先の座標位置を保存する方法(ティーチング)の2通りがあります。

4-3-1. 固定退避位置座標入力

リストー覧画面のメモリースイッチK117、K118を選択すると、テンキー画面から座標を直接数値 入力することができます。



内容	説明
固定退避位置のX座標位置	X 軸方向の固定退避位置を設定します。
固定退避位置のY座標位置	Y 軸方向の固定退避位置を設定します。

4-3-2. 固定退避位置ティーチング

固定退避位置ティーチング機能とは、押えに貼られたバーコードの位置に押えを移動させ、その座標 位置をメモリースイッチ K117 と K118 に保存する機能です。バーコードを読み取る座標位置が不 明な場合は、この機能を使用すると簡単に設定することが出来ます。

バーコード機能が有効な場合は、バーコード設定一覧画面から「バーコード読み取り位置ティーチング」 ボタンを選択すると、固定退避位置ティーチングが行えます。



リスト 一覧	×
21 パターン補正	
22 スケービング補正 23 問題解決グラン情報	
 24 固定退避位置ティーチング 25 外部システム接続設定 	
26 NFC端末利用制限数定	
	I (PA)
2023.03.08 a.m. 11:18	đ

また、リストー覧画面の「固定退避位置ティーチング」ボタンを 選択しても固定退避位置ティーチングが行えます。 固定退避位置ティーチング画面の8方向ボタン ●を用いて、押えの位置を移動することが出来ます。 停止すると、その停止位置の座標が表示されます。確定ボタン ●を押すと、その座標位置がメモリー スイッチ K117 と K118 に保存されます。

押えを移動させた位置でバーコードが正しく読み込めるかどうかの確認が行えます。バーコード読み 取り結果は、読み取り文字列 ● に表示されます。最大 16 文字まで表示可能で、16 文字を超えたバー コードを読み取る場合は、先頭からの 16 文字が表示されます。



	内容	説明
Ţ	バーコード読取り実行ボタン	バーコードの読取りを行います。 バーコードリーダーが接続されていない場合は無効ブザー音 が鳴ります。
x + x + - + x + x	8 方向ボタン	押さえを移動させます。
R	リセットボタン	短押し:押えを画面表示時の座標位置に移動します。 長押し:押えを原点位置に移動します。
	確定ボタン	画面上に表示した座標位置をメモリースイッチ K117、 K118 に保存します。
×	閉じるボタン	編集した座標位置を破棄し、画面を閉じます。

〔5. 使用方法

リストー覧画面を閉じ、バーコードモードが有効な場合は、ON 状態を示すピクト か表示されます。

設定状態では、バーコード読み取りによる縫製パターンの確認が可能です。画面上のバーコード読み取 りボタン または、押えスイッチ (ペダル)を押下することで、バーコードの読み取りを行います。

ただし、設定状態での読み取り動作は、原点検索動作以降に有効となります。また、押えスイッチ押下 による押えの動作はありません。バーコードの読み取りのみとなります。設定状態で読み込んだ縫製パ ターンは、準備状態移行時に破棄されます。



準備状態では、押えスイッチ押下により、バーコードの読み取り、パターン読み込み、外押え下降の動 作になります。



縫製パターンが読み込まれ、外押えが下降した状態で縫製開始が可能です。

エラーコード一覧

エラーコード	表示メッセージ	エラー内容	復帰方法	復帰場所
E010	指定されたパター ンがありません。	バーコードで指定されたパターンが登 録されていない。	リセット 後再復帰 可能	前画面
E058	バーコード読み取 りエラー	読み取り位置にバーコードがない。 バーコードのデコードに失敗した。 通信タイムアウト	リセット 後再復帰 可能	前画面
E921	バーコードリー ダー通信エラー	バーコードリーダーがミシンに接続さ れていない。 バーコードのフォーマット異常	電源 OFF	

(6. バーコード構成

巻末の付録にあるバーコードシートを読み取ることで、対応する縫製パターンに切り替えることができます。切り離してお使いください。バーコードシートは Code39 の規格に対応しています。

Code39以外の規格でバーコードを作成する場合、下記フォーマットに従って作成してください。



<u>パターン種別</u>

Uまたは O: ユーザーパターンに対応します。

<u>パターン No.</u>

ユーザーパターン: No.001 ~ No.999 種別、No それぞれ、ASCII コードで記述してください。 上記 U001 の場合、0x55 0x30 0x30 0x31 となります。

スタート / ストップキャラクタ等、使用するバーコード規格に従って作成してください。

バーコードは両側の余白が小さいと、読み取りエラーになる場合があります。そのため、両側の余白 はできる限り大きくしてください。 巻末の付録にあるバーコードを使う場合には、コピーしてから切 り取り線で切り分けてください。

(7. バーコードリーダーの動作不良について

バーコードリーダーが読み取りを行わない場合、バーコードリーダー側面にある SCAN ボタンを押して、レーザーが発光することを確認してください。

SCAN ボタンを押しても発光しない場合、バーコードリーダーが故障している恐れがあります。 発光する場合には、下記のバーコードを ① → ② → ③ の順で読み取り、ミシンを再起動してください。



8. パーツリスト

1. BAR CODE SET

バーコードセット

